

指定管理者制度活用事業 評価シート(案)

1. 基本事項

施設名称	川崎市麻生スポーツセンター	評価対象年度	令和4年度
事業者名	あさおスポーツムーブメント共同事業体 〈代表〉 株式会社コナミスポーツ 代表取締役 室田 健志 東京都品川区東品川四丁目10番1号 〈構成員〉 イオンデイライト株式会社 支社統括本部 関東支社横浜支店 代表者 支店長 菊池 政幸	評価者	地域振興課長
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	所管課	麻生区役所地域振興課

2. 事業実績

利用実績 (単位:人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計																																																							
	17,804	16,178	17,111	15,400	15,724	16,455	18,058	10,801	9,662	9,960	11,194	11,783	170,130																																																							
収支実績	<p>【感染防止対応】 令和4年11月14日～:トレーニング室30人としていた利用人数を40人。シャワーも全基稼働。レンタル商品は11月16日からシューズのレンタル再開。 スポーツデーの定員変更11月14日から順次。エアロビクス40人→50人(収容定員80人)11月14日から。 健康体操40人→50人(収容定員80人)11月22日から、剣道11月17日から、空手11月19日から、柔道11月20日から、ヨガ11月18日から24人→30人(収容定員49人)。 【大体育室工事休館】11月1日～3月31日。</p>																																																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>科 目</th> <th>予算額</th> <th>決算額</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">I 収入の部</td> </tr> <tr> <td>1 指定管理料</td> <td>42,945,000</td> <td>44,058,266</td> <td>うち光熱費高騰分補填1,113,266円</td> </tr> <tr> <td>2 利用料金収入</td> <td>39,040,000</td> <td>29,837,533</td> <td>団体、個人、駐車場</td> </tr> <tr> <td>3 教室収入</td> <td>31,655,000</td> <td>23,393,540</td> <td>スポーツ教室</td> </tr> <tr> <td>4 物品等販売収入</td> <td>5,042,000</td> <td>1,650,166</td> <td>自販機、物販</td> </tr> <tr> <td>5 その他収入</td> <td>2,613,000</td> <td>9,784,664</td> <td>レンタル、コピー等 うちコロナ補償 5,593,453円工事補償4,007,914円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>121,295,000</td> <td>108,724,169</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4">II 支出の部</td> </tr> <tr> <td>1 人件費関係</td> <td>69,712,000</td> <td>61,975,742</td> <td>人件費、賃金、諸謝金、旅費</td> </tr> <tr> <td>2 事業関係経費</td> <td>20,405,000</td> <td>20,242,000</td> <td>委託費、使用料及び賃借料</td> </tr> <tr> <td>3 管理運営経費</td> <td>31,178,000</td> <td>23,782,758</td> <td>光熱費、什器備品費、本社経費等</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>121,295,000</td> <td>106,000,500</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">収支差額 (収入の部合計-支出の部合計)</td> <td>2,723,669</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>													科 目	予算額	決算額	備 考	I 収入の部				1 指定管理料	42,945,000	44,058,266	うち光熱費高騰分補填1,113,266円	2 利用料金収入	39,040,000	29,837,533	団体、個人、駐車場	3 教室収入	31,655,000	23,393,540	スポーツ教室	4 物品等販売収入	5,042,000	1,650,166	自販機、物販	5 その他収入	2,613,000	9,784,664	レンタル、コピー等 うちコロナ補償 5,593,453円工事補償4,007,914円	合 計	121,295,000	108,724,169		II 支出の部				1 人件費関係	69,712,000	61,975,742	人件費、賃金、諸謝金、旅費	2 事業関係経費	20,405,000	20,242,000	委託費、使用料及び賃借料	3 管理運営経費	31,178,000	23,782,758	光熱費、什器備品費、本社経費等	合 計	121,295,000	106,000,500		収支差額 (収入の部合計-支出の部合計)		2,723,669
科 目	予算額	決算額	備 考																																																																	
I 収入の部																																																																				
1 指定管理料	42,945,000	44,058,266	うち光熱費高騰分補填1,113,266円																																																																	
2 利用料金収入	39,040,000	29,837,533	団体、個人、駐車場																																																																	
3 教室収入	31,655,000	23,393,540	スポーツ教室																																																																	
4 物品等販売収入	5,042,000	1,650,166	自販機、物販																																																																	
5 その他収入	2,613,000	9,784,664	レンタル、コピー等 うちコロナ補償 5,593,453円工事補償4,007,914円																																																																	
合 計	121,295,000	108,724,169																																																																		
II 支出の部																																																																				
1 人件費関係	69,712,000	61,975,742	人件費、賃金、諸謝金、旅費																																																																	
2 事業関係経費	20,405,000	20,242,000	委託費、使用料及び賃借料																																																																	
3 管理運営経費	31,178,000	23,782,758	光熱費、什器備品費、本社経費等																																																																	
合 計	121,295,000	106,000,500																																																																		
収支差額 (収入の部合計-支出の部合計)		2,723,669																																																																		
サービス向上の取組	<p>○感染症対策を実施しながら、感染状況の改善を受けて教室、スポーツデー、トレーニング室等の定員見直しを行い、運動機会提供に努めた。 ○令和5年4月からの料金改定や大体育室工事休館等による運用変更にあたり、適切に広報を行い、利用者に混乱を与えることなく運営を行った。 ○年末年始の開館日を延長し、利用者の運動の機会を増やした。 ○施設づくりの一環として、ウェルカムボード(来館者への歓迎メッセージや季節のトピックス等を記載)や忘れ物インフォメーションボードの設置を行うとともに、サービス向上のために携帯電話充電スポットを設置した。 ○駐車場台数が少ないためHPに近隣パーキングの案内を掲載した。 ○トレーニング室の混雑状況を1階入口に掲示し、混雑状況を把握できるようにした。 ○トレーニング室一部機器の利用方法の意見(予約制、予約制反対)に対して予約制試行実施を踏まえた簡易アンケートを行い利便性向上に努めた。 ○参加状況を鑑み、よりニーズの高い教室への変更や新たな教室の導入を行った。(夏期4教室、冬期2教室) ○研修室の稼働率向上のために、卓球のプライベートレッスンを開催するとともに利用促進のためにプロジェクターを設置・貸出を行った。 ○利用者サービス向上のため12月と1月にスポーツウェア類の販売会を実施した。 ○区制40周年記念事業として7月1日にスポーツデー、トレーニング室を無料開放を行った ○地域団体と連携し、美化活動に運動の要素を入れた「プロギング」を行い、地域貢献及びスポーツの振興に努めた。 ○総合型地域スポーツクラブとの連携により、団体支援に加え多くの区民に対してスポーツに親しむ機会を提供した。 ○麻生区スポーツ推進委員会の協力により、誰もが楽しめるニュースポーツ教室を実施した。 ○高齢者や障害者等に対して見やすさに配慮してHPや掲示物を作成するとともに、視覚障害歩行誘導マットを敷設した。 ○川崎フロンターレやブレイブサンダースなどの広報、また、地域活動団体の情報提供を掲示板やあさおスポーツねっとで適切に行った。</p>																																																																			

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	利用者満足度	利用者満足度調査を適切に実施しているか	6	3(0.6)	3.6
		利用者満足度は向上しているか			
		調査結果の分析を行い、満足度向上のための具体的な取組に反映しているか			
	事業成果	事業実施による成果の測定が適切に行われているか	6	3(0.6)	3.6
当初の事業目的を達成することができたか					
	(評価の理由) 【利用者満足度】 ○事業計画に則り利用者へのアンケート調査を実施したが、回収数が少ない。利用者サービスの向上に向けてアンケートの内容や回収方法を工夫する必要があった。 ○個別に寄せられた意見や所管課に連絡のあった苦情に対し、都度、館と連絡調整し、対応可能なものから順次実施した。 ○トレーニング室一部機器の利用方法の意見に対して試行実施を踏まえた簡易アンケートを実施した。更に利用者へ結果をフィードバックし、麻生スポーツセンターの利用状況に適した利用方法を確定した。 【事業成果】 ○感染症の影響や大体育室の工事休館等で一部利用制限や実施できない事業があったものの、事業計画の履行状況については定期的に確認しながら、状況に応じて実施可能な事業を開催することで利用者に運動機会を提供するなど、施設の設置目的を果たした。				

収支計画・実績	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	6	3(0.6)	3.6	
		支出に見合う効果は得られているか				
		効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか				
	収入の確保	計画通りの収入が得られているか	6	3(0.6)	3.6	
		収入増加のための具体的な取組が為されているか				
	適切な金銭管理・会計手続	収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	4	3(0.6)	2.4	
		事業収支に関して適正な会計処理が為されているか				
	(評価の理由)					
	【効率的・効果的な支出】 ○スタッフのマルチジョブ化を進め、繁忙期等において様々なスタッフが柔軟に対応できる体制づくりに努めた。					
	【収入の確保】 ○大体育室の工事休館やコロナによる定員削減等により計画に沿った事業展開が困難であったが、新規教室の実施等により、収入確保に努めた。 ○研修室や各居室の稼働率向上のため、参加者数の少ないスポーツデーや教室の運営を一層工夫し、収入増加につなげるよう努める必要があった。					
【適切な金銭管理・会計手続】 ○金銭管理・会計処理については、従事するスタッフ全員に研修を実施するとともに本社による監査等を行い、適正に実施した。						
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供(施設の利用提供)	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	6	3(0.6)	3.6	
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか				
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか				
	適切なサービスの提供(トレーニング室を含む個人開放事業)	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	6	3(0.6)	3.6	
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか				
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか				
	適切なサービスの提供(教室事業)	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	6	3(0.6)	3.6	
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか				
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか				
	適切なサービスの提供(地域との連携、自主事業等)	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	6	4(0.8)	4.8	
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか				
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか				
	業務改善によるサービス向上	実施計画と実際のサービス提供に「ずれ」が生じている場合、原因究明に必要な取組が為されているか	8	3(0.6)	4.8	
		業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか				
		業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか				
	利用者の意見・要望への対応	利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	8	3(0.6)	4.8	
		意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)				
		利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
	(評価の理由)					
	【適切なサービスの提供(施設の利用提供)】 ○施設づくりの一環として、ウェルカムボードの設置、HP、デジタルサイネージを活用した館内情報案内やHPでの近隣パーキングの案内、忘れ物インフォメーションボードの設置、年末年始の開館等、利便性を高めサービス向上を図った。 ○感染症対策を実施しながら、感染状況の改善を受けて教室、スポーツデー、トレーニング室等の定員見直しを行い、運動機会提供に努めた。 ○令和5年4月からの料金改定や大体育室工事休館等による運用変更にあたり、適切に広報を行い、利用者混乱を与えることなく運営を行った。 ○利用形態や運営方法を工夫し、施設稼働率向上に向けて努める必要があった。(館全体の稼働率:令和3年度82.1%→令和4年度80.6%)					
	【適切なサービスの提供(トレーニング室を含む個人開放事業)】 ○スポーツデーについて、大体育室が工事休館のため、曜日・時間を変更し小体育室で開催する等参加機会の継続に努めた。 ○トレーニング室一部機器の利用方法の意見に対して試行実施を踏まえた簡易アンケートを実施した。更に利用者へ結果をフィードバックし、麻生スポーツセンターの利用状況に適した利用方法を確定した。					
【適切なサービスの提供(教室事業)】 ○参加状況を鑑み子ども体育室を活用した新たな教室を導入した。 ○研修室についても稼働率の向上のために卓球プライベートレッスンを開始した。						
【適切なサービスの提供(地域との連携、提案事業)】 ○地域活動団体と連携し、新百合ヶ丘駅周辺の美化活動に運動の要素を加えたプロギングを実施した。 ○感染症対応を基本としながら、地域の総合型地域スポーツクラブと連携したイベント「わくわくイベント」(参加者約373人)を実施し、活動をつうじて団体支援を行った。 ○麻生区スポーツ推進委員会と連携してニュースポーツ教室を開催した。						
【業務改善によるサービス向上】 ○利用者ニーズに対応できるようにアンケートを利用属性ごとに集計ができるように工夫した。 ○スタッフアンケートを実施してスタッフの業務改善に対する意識醸成に努めた。						
【利用者の意見・要望への対応】 ○個別に寄せられた意見や所管課に連絡のあった苦情に対し、都度、館と連絡調整し、対応可能なものから順次実施した。 ○トレーニング室一部機器の利用方法の意見に対して試行実施を踏まえた簡易アンケートを実施した。更に利用者へ結果をフィードバックし、麻生スポーツセンターの利用状況に適した利用方法を確定した。 ○事業計画に則り利用者へのアンケート調査を実施したが、回収数が少ない。利用者サービスの向上に向けてアンケートの内容や回収方法を工夫する必要があった。						

組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	8	3(0.6)	4.8
	連絡・連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	8	4(0.8)	6.4
	安全・安心への取組	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等) 緊急時に警察や消防など関係機関と速やかに連携が図れるよう、連絡体制を構築し、定期的に情報交換等を行っているか			
	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	4	3(0.6)	2.4
	職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか			
	環境負荷の軽減	環境に配慮した調達や業務実施が行われているか			
(評価の理由) 【適正な人員配置、連絡・連携体制、再委託管理、担当者のスキルアップ】 ○トレーニング室において、複数名のスタッフを配置し、巡回、初回説明対応等利用者が安全・快適に利用できるように努めた。 ○施設統括スタッフに加え施設管理スタッフを含め定例会を開催することで所管課と情報共有体制を強化しており、定例会以外でも随時電話やメールで連絡し情報共有を行った。 ○年間を通じて計画的に研修等を実施した。 ○スタッフの役割意識が徹底されるよう、一層の意思疎通を図り、緊急時対応や苦情対応を適切に対応する必要があった。 【安全・安心への取組】 ○感染拡大防止対応について所管課と協議し、感染症対策を実施しながら運動機会の提供に努め、施設利用に影響を及ぼす、あるいは生命にかかわるような重大な事件・事故は発生しなかった。 ○月1回事故報告や改善点を情報共有する安全に関するミーティングを実施するとともに、緊急時には近隣施設等から対応できる体制を構築した。 【コンプライアンス、職員の労働条件・労働環境、環境負荷の軽減】 ○個人情報保護規定を策定し、実効性を高めるために全スタッフを対象に年4回個人情報保護研修、個人情報保護理解度テストを実施した。 ○区内在住者を積極的に採用(スタッフの約7割が区内在住者)することで、通勤時間の短縮等家庭環境への影響を少なくする効果や地域情報に通じたスタッフが多いことで施設利用促進の一助となった。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	6	3(0.6)	3.6
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか			
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか			
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか	6	3(0.6)	3.6
	外構・植栽管理	外構の植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか			
(評価の理由) 【施設・設備の保守管理、管理記録の整備・保管、清掃業務】 ○施設・設備の修繕についてはトレーニング室のミラーシートの交換・部品修理、2階観覧席手すり補修工事、大体育室カーテン交換作業等、計画的、また必要に応じて整備を行い快適な環境づくりに努めた。 ○建物・設備の保守管理については、計画的に実施することで安心安全な利用につなげた。 【外構・植栽管理、備品管理】 ○計画的な植栽管理の実施により、快適な環境づくりに努めた。 ○適正な備品管理を実施した。					

4. その他加点

分類	項目	着眼点			評価点
その他加点	市の政策課題への取組	かわさきパラムーブメントに関する取組			1
	(評価の理由) ○掲示物やHP等障がい者や高齢者に対して文字の大きさや見やすさを配慮した。自主事業として視覚障がい者歩行誘導マットを敷設する等誰もが利用しやすい施設づくりに努めた。 ○麻生区スポーツ推進委員会の協力を得てニュースポーツ教室を毎月第2土曜日に実施。また7/18開催のニュースポーツまつり、10/10開催のスポーツの日記念事業イベントでニュースポーツの体験会を開催するなど誰もがスポーツに楽しめる、参加できる運動機会を提供した。 ○市所有のボッチャセット等、パラスポーツ用具の貸出と保管を担い、地域におけるパラスポーツの振興に協力した。				

5. 総合評価

評価点合計	63.8	評価ランク	C
-------	------	-------	---

6. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

<p>○今回は2年次目の評価となる。新型コロナ感染症の影響や大体育室工事による休館等があり、事業計画比では収入減となったが施設の役割や設置目的を理解し、年間を通じて各種サービスを安定的に提供したことで、スポーツを楽しむ機会や区民の健康づくりに貢献した。</p> <p>○感染症拡大防止対応により利用制限等の措置を講ずる必要があったが、基本的感染対策を講じた上で感染状況に応じた運営方法の変更や定員制限の緩和など、所管課と密に連携しながら適切に実施した。また、令和5年度からの料金改定や大体育室工事による休館等運用の変更についても速やかにホームページや館内掲示を行うなど、利用者に混乱を与えることなく適切に対応した。</p> <p>○個別に寄せられた意見や所管課に連絡のあった苦情に対し、都度、館と連絡調整し、対応可能なものから順次実施した。</p> <p>○地域活動団体との連携により、活動範囲を広げた取組を行い、スポーツセンター利用者以外の市民に対して健康増進を図る取組を実施した。</p> <p>○スタッフを対象とした防災訓練の実施や研修の受講を定期的に行い、職員の資質及び技能向上に努めた。</p> <p>○安心安全な環境づくりに努め、計画的な修繕を実施することで、利便性の向上、快適な環境づくりを行った。</p>
--

7. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

- 施設の役割や設置目的への理解を深めると同時に、施設利用者に対し正確な情報を丁寧に伝えることができるよう、スタッフの意識及び接客技能を向上させる取組を継続的に行うこと。
- 利用者へのアンケート調査を実施したが、回収数が少ないため今後は、サンプル数を増やし、出された意見について適切に分析するとともにスタッフ間で課題や意識、対応を確実に共有し、利用者サービスの向上に向けて努めること。
- 既存サービスを含め現在の運用方法を見直す意識を常に持ち、業務改善につながる取組を探りながら業務にあたること。
- 施設の維持管理については、事業計画等に基づき計画的に各種作業等を行い、利用者サービスの向上、安心安全な施設づくりに努めること。
- 修繕については、所管課と連携しながら早急に対応することで利用者にとって快適な環境づくりに努めること。
- 有効な情報発信方法について広報手段の検討、改善に努めること。地域に根ざした施設として「あさおスポーツねっと」については、より一層の有効活用に向けた工夫をすること。
- 「かわさきパラムーブメント」の理念を尊重し、誰もが安心して利用できる環境づくりに努めること。障害者などが利用する場合には特に配慮を行うこと。
- 地域活動が盛んな地域性であることを意識し、引き続き地域活動団体との緊密な連携により施設の設置目的を果たせるよう努めること。